

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

パーパス

環境問題に技術と知恵で立ち向かい、持続可能な社会の構築に貢献する

連結売上高
14,640百万円営業利益
1,317百万円総発電量
100MW

② 中長期の経営戦略

1. 土壌汚染対策事業

調査・解析・設計・原位置浄化技術を活用した汚染地有効活用措置の提案営業で差別化を徹底する

3. 自然エネルギー事業

FIT制度に依存しない事業モデル開発と海外案件開拓により収益構造を多角化・安定化する

2. ブラウンフィールド活用事業

土壌汚染対策事業との連携強化により環境対応についての提案部分で差別化を図る

4. スtock型ビジネス拡大

土壌汚染対策とブラウンフィールド活用で短中期成長を担い、自然エネルギー事業でStock収益源を蓄積

③ 対処すべき課題

① 土壌汚染対策とブラウンフィールド活用の相…

- ・ 産業用地所有者の情報入手とアプローチが課題
- ・ グループ横断的コンサルティング営業による包括的ソリューション提供
- ・ 株式会社土地再生投資のノウハウ活用による規模の効果

② 土壌汚染対策事業の品質・リスク管理強化

- ・ 大型案件の品質管理と原価管理の精度向上
- ・ 営業・技術・工事の複眼的案件俯瞰体制の徹底
- ・ 安全対策のより一層の徹底とリスク管理

③ 新技術導入と競争力強化

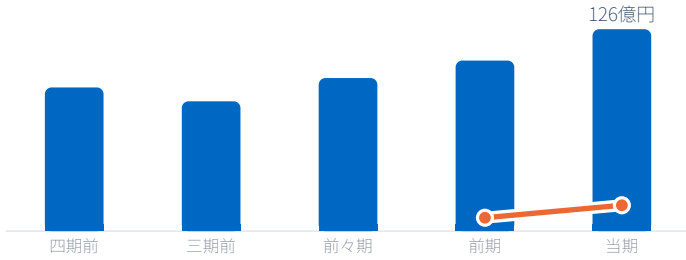
- ・ PFAS対応技術の開発とブルームストップ工法の導入
- ・ 責任施工保証保険とプレアセスメント調査サービスの拡販
- ・ 大学との共同研究による汚染物質分解微生物の開発

面接で使えるポイント

- ・ 土壌汚染対策事業とブラウンフィールド活用事業の相乗効果で、ワンストップソリューションの提供を目指している
- ・ 2027年3月期までに総発電量100MW達成を目標とし、FIT制度に依存しないPPA事業など新事業を推進している
- ・ PFAS対応技術やブルームストップ工法など新技術導入により、競合との差別化を図っている

証券コード 6092

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
126億円

営業利益率
12.8%

財務健康度
39点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 46.8（当サイト算出の参考指標）

平均年収
670万円
サービス業内 160位/524社

平均年齢
41.43歳
サービス業内 150位/527社

平均勤続
4.95年
サービス業内 345位/527社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: (株)エンバイオ・ホールディングス【6092】：決算情報

